

平成 27 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 プ イ キ ュ ー ブ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 間 下 直 晃  
(コード番号：3681 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 川 成 儀  
(TEL. 03-5768-3111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、下記の通り、平成 27 年 2 月 12 日公表の平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、通期の連結業績予想については、現在精査中であり、今後修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

### 記

#### 1. 平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)の連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	2,700	0	0	0	0 円 00 銭
今回修正予想(B)	2,700	170	180	90	9 円 57 銭
増減額(B-A)	0	170	180	90	
増減率(%)	0.0	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期(累計)実績 (平成 26 年 12 月期第 2 四半期(累計))	1,733	107	83	31	6 円 96 銭

(注) 前回発表予想及び今回修正予想の 1 株当たり四半期純利益は、平成 27 年 5 月 31 日現在の発行済株式総数(9,400,800 株)を基に算出しております。また、前期第 2 四半期(累計)実績の 1 株当たり四半期純利益は、平成 27 年 1 月 1 日付の 1 株につき 2 株の割合で実施した株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合、3 円 48 銭となります。

#### 2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間において、売上高については、主力のクラウド型サービスの売上高は積極的な営業活動により、国内外で堅調に推移し、計画を大きく上回る見込みとなりました。オンプレミス型サービスの売上高は見込んでいた案件の先送りの影響等で、計画を下回る見込みとなりました。当第 3 四半期にピークが出る計画の電子黒板システム等のアプライアンスの売上高及びビジュアルコミュニケーションに関わるハードウェアを販売するその他の売上高は、売上総利益の向上を重視する方針の下、相対的に売上総利益率の低い案件の獲得を控えたため、各々、計画を下回る見込みとなりました。

以上により、売上高は、概ね前回発表予想の通り推移する見込みです。

費用については、積極的な販売活動投資を続けており、販売費及び一般管理費は概ね計画通り推移しているものの、オンプレミス型サービス、アプライアンス及びその他の案件の減少に伴い、売上原価は計画を下回る見込みとなり、費用全体で計画を下回る見込みとなりました。

営業利益は、売上総利益率の高いクラウド型サービスの売上高が計画を上回る見込みとなったことに加え、費用が計画を下回る見込みとなったため、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

経常利益は、営業利益が計画を上回る見込みとなったことに加え、昨今の為替相場の変動により、主に当社連結海外子会社への貸付金に対する為替評価替に伴う為替差益等の営業外収益を見込んだため、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

四半期純利益は、経常利益が計画を上回る見込みとなったため、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 27 年 12 月期第 2 四半期(累計)の連結業績については、平成 27 年 8 月 13 日公表予定の「平成 27 年 12 月期第 2 四半期決算短信」をご覧くださいませよう、よろしくお願いたします。

以 上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。